

第3回 住宅設計コンテスト「鰻の寝床のガレージハウス」

- 設計コンセプト -

良いデザインの車と良いデザインの住宅とはとても相性がいい。車のCMでもよく有名建築が使われている。しかし、ガレージと住宅はあまり相性が良くないのである。特に日本のような間口の狭い敷地は難しい。その理由は明瞭で建築の一番大事なファサードデザインをシャッターで殺されてしまうからだ。その為僕たちは試行錯誤をして色々なテクニックを駆使してデザインをする。

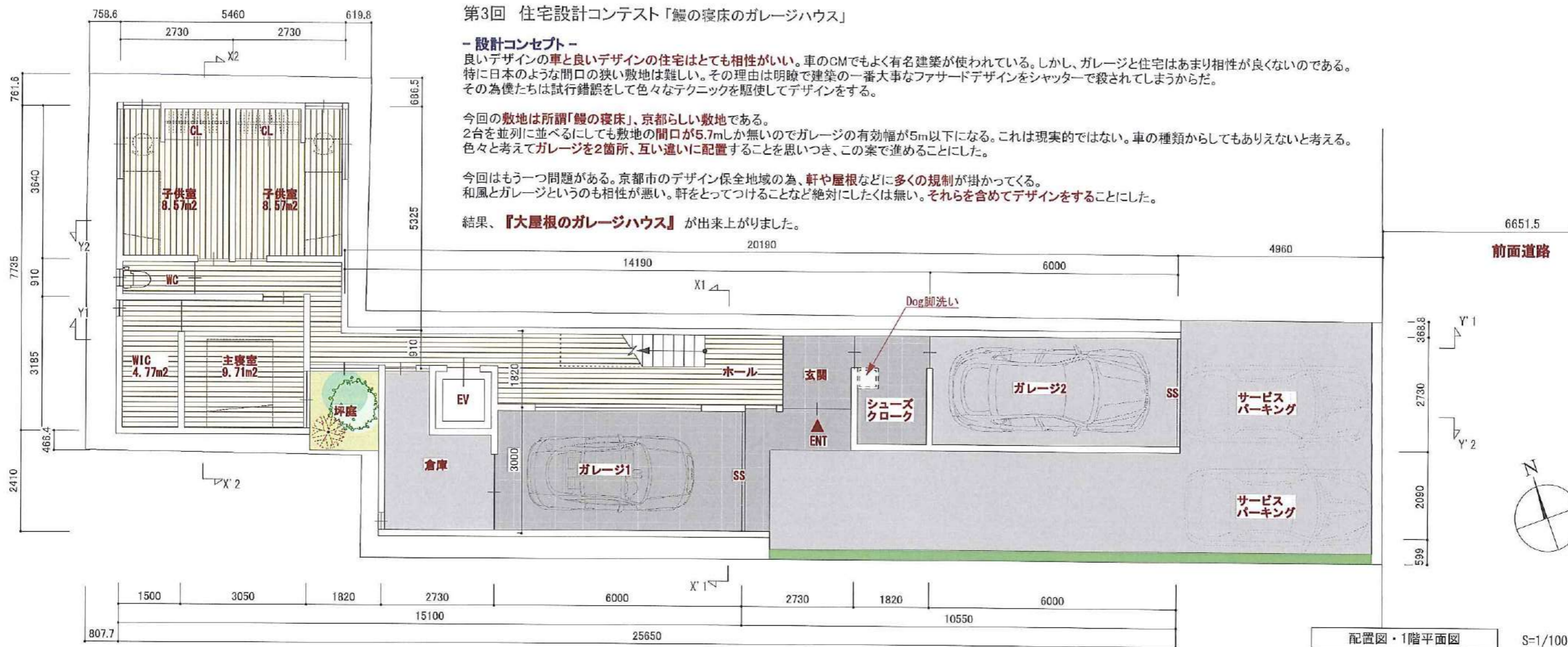
今回の敷地は所謂「鰻の寝床」、京都らしい敷地である。

2台を並列に並べるにしても敷地の間口が5.7mしか無いのでガレージの有効幅が5m以下になる。これは現実的ではない。車の種類からしてもありえないと考える。色々考えてガレージを2箇所、互い違いに配置することを思いつき、この案で進めることにした。

今回はもう一つ問題がある。京都市のデザイン保全地域の為、軒や屋根などに多くの規制が掛かってくる。

和風とガレージというのも相性が悪い。軒をとってつけることなど絶対にしたくは無い。それらを含めてデザインをすることにした。

結果、『大屋根のガレージハウス』が出来上がりました。



- PLAN (配置・1F) -

敷地の道路側はあえて控えて配置することでサービスパーキングとして空地を残しています。それは車の出入りもし易くなっています。間口の敷地の北側道路寄りに「ガレージ1」、残りを(通路+車路)としました。(通路+車路)お客様用のサービスパーキングとしても考えています。通路を奥に進みずと玄関と「ガレージ2」があります。

間口の敷地北側に配した「ガレージ1」はPorsche Macanと考えています。SUVなので普段使いと考え手前のガレージとしました。

ガレージの奥行きは6mありますのでスペアタイヤや少しであればレジャー用品等を置くことができます。ガレージ奥の出入り口からシューズクロークを通過して玄関へ移動で出来、シャッターを閉めてそのまま家に入ることが出来ます。

通路奥敷地の南側に「ガレージ2」があります。「ガレージ2」はAudi R8と考えています。ガレージ内部の住居側の壁は一面をガラスとしています。また、奥行きは同じく6mとし、さらに奥に倉庫を配し屋内へは「ガレージ2」からはガレージを出て玄関から入る方法と奥側の倉庫を通過して廊下に出る方法があります。玄関へは屋根があるので、どちらの場合でも雨でも濡れずに家の中へ入ることが出来ます。玄関は右側にシューズクロークと「ガレージ1」に続く通路があります。シューズクローク内には棚やハンガーパイプの他に犬用の脚洗いを考えてます。左側は玄関ホールです。玄関ホールは贅沢な空間と考え、ガレージ側の一面ガラスの壁からは車を眺めたり、スケルトン階段下や廊下にウェイトニング用のラウンジチェアや植栽・絵画などを置くのも良いかと思えます。ホールを進むと左側にエレベーターを配しています。エレベーターの扉はあまりデザインが良くないので玄関からは見えない位置が良いと考えました。エレベーターの横は倉庫への扉があり、「ガレージ2」と繋がっています。エレベーターを進むと左側にガラスの開口があり、坪庭を見ることが出来ます。坪庭は寝室の採光も兼ねています。

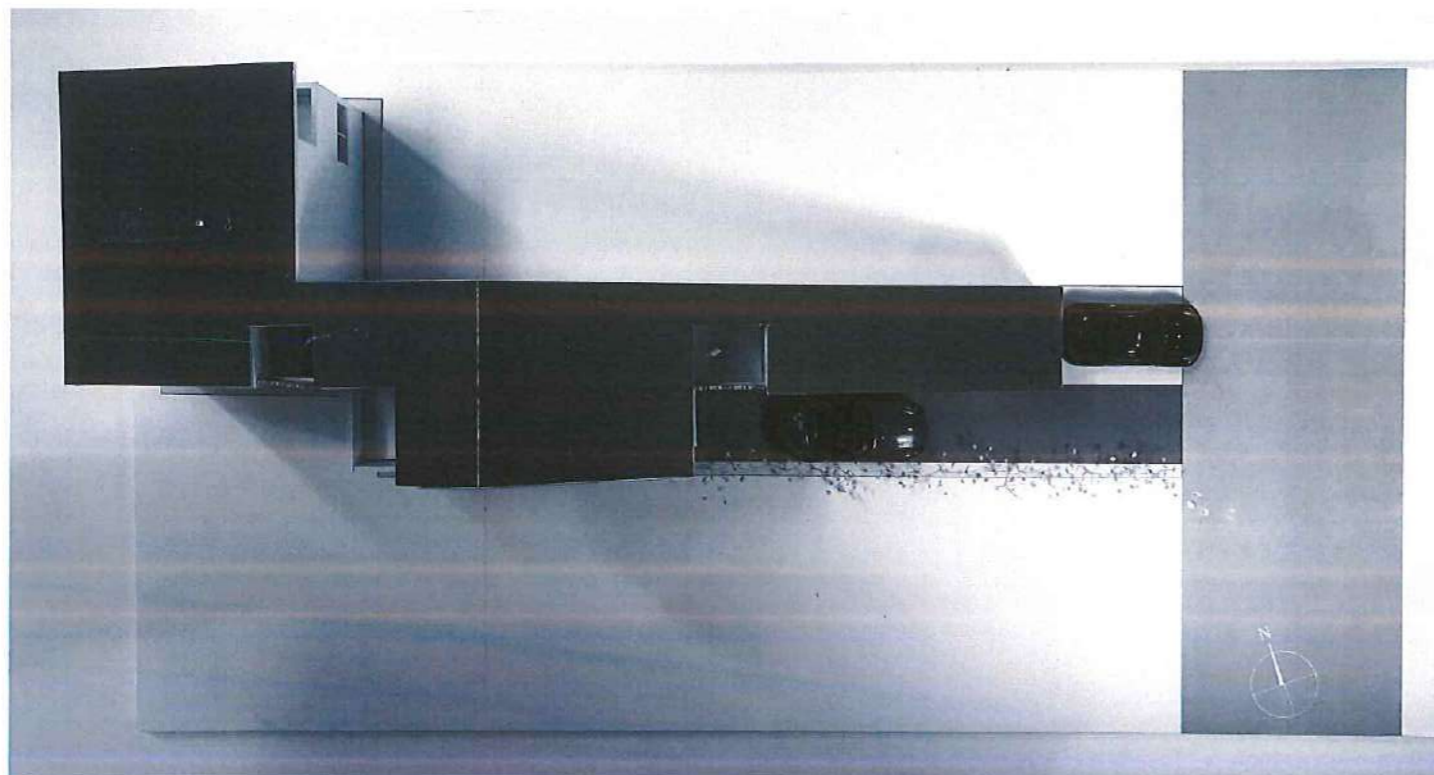
廊下を進み左側に主寝室右側に子供室が二部屋、正面にトイレを配しています。

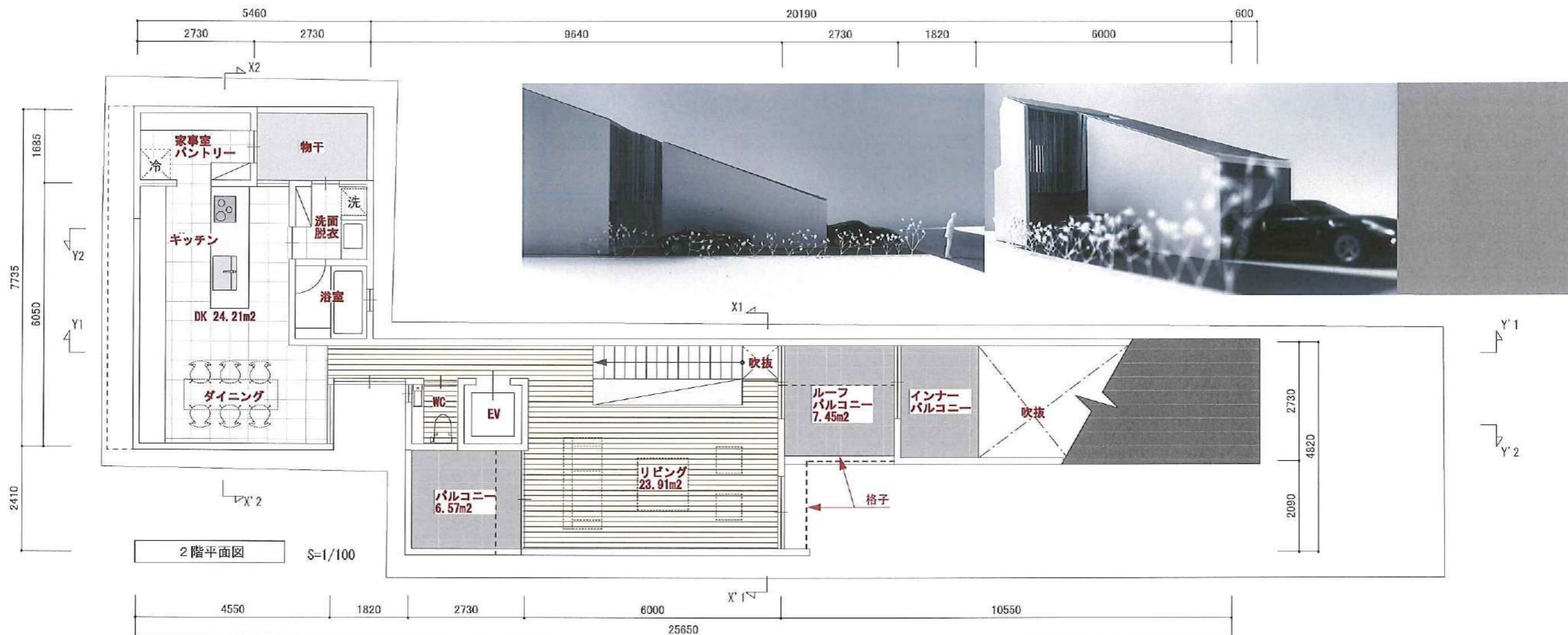
主寝室は坪庭側に窓を配し採光を取っています。奥にウォークインクローゼットがあります。

子供室は2部屋、クローゼットと造作机があり、シングルベットを置くのが良いと考えています。

鰻の寝床のガレージハウス計画案 建築DATA

計画地:京都市中京区弁財天町315番	敷地面積: 200.99m ² (111.3坪)	収納
都市計画区域内:市街化区域	建築面積: 112.57m ² (34.05坪)	冷蔵庫
用途地域:近隣商業地域	建蔽率: 56.01% <80% .:OK!	洗濯機
防火指定:準防火地域	法定床面積: 192.62m ² (58.26坪)※駐車場緩和使用せず	開口部
その他:旧市街地美観地区・近景デザイン保全地域	容積率: 95.83% <300% .:OK!	開口部(FIX窓)
建蔽率:80% (<160.79m ²)	施工床面積: 208.79m ² (63.15坪)※バルコニー含む	
容積率:300%(<602.97m ²)	工法: 木造軸組	





- PLAN (2F) -

スケルトン階段はデザイン的にスチール製が良いと考えています。

階段北側の2階に続く壁は吹抜け、大屋根の勾配形状の大きな壁となっており、板貼り・タイル等々内装を設けて車に見合う贅沢な空間になればと考えています。

階段を上がりリビング側にある高めの造作収納壁を通り過ぎると、パッと勾配天井のリビングルームが広がります。

道路側の窓は縦格子にてデザインされています。京都風雲間気と内観からのプライバシーを考えています。ルーフバルコニーも縦格子デザインのプライバシーの高いバルコニーとなっているので、外部用のテーブル&イスを置く事もお勧めです。ルーフバルコニーを通過して「ガレージ」上部のインナーバルコニーに進むと、上部吹抜けから収納された車が見降ろせます。リビング奥にもバルコニーを設けています。リビングの採光、換気はもちろんのこと、ダイニング側の圧迫感を無くすためと坪庭への採光をよくする目的もあります。エレベーターの隣のメイントイレは大きめでプランしました。通路を進むと正面に勾配のある高い天井のダイニングルームが見えてきます。手前右側壁(北側壁)は浴室です。天井高はデザインと機能面も考慮しリビングダイニング以外はH2300としました。

キッチンダイニングは主に家族のパーソナルスペースとして機能すると考え、洗面、浴室と共にこの位置に配しました。

ダイニングルームは坪庭からの採光を検討しています。リビングルームバルコニーがありますので、圧迫感も少ないかと考えています。

キッチンはペニンシュラ型とし、キッチンバックは配膳棚、収納棚等の機能棚として考えています。キッチンは家事動線を考えてプランニングしました。

キッチン奥には家事室兼パントリーを配し、見た目が良くない冷蔵庫はこの位置に置いています。パントリーの収納は簡易な造作棚を検討しています。

家事室件パントリーからは物干しへ通じており、そのまま洗濯機を置いている洗面脱衣に入ることができます。

キッチンから物干しへの窓はタペガラスとするか又は足元のみにする等で洗濯物を見せないように考えてます。洗面脱衣は洗面室と洗濯機、造作でタオルや下着を入れる収納を検討しています。

浴室は現状は造作で検討しています。洗面脱衣にて洗濯をしますが、そのまま物干しに行き、家事室へ取り込み置みます。

物干しは道路から目立たない場所で、できればリビングはダイニングからも見えない場所が良いと思い、この位置に配しています。また、高さを抑えることで1階の子供室へも採光も考慮しました。

